

IPAフォーラム 2007

「学生から見たIT産業」と「IT産業から見た学生」

～IT産業は学生からの人気を回復できるか～

討論会

## 主旨

- アメリカ・ヨーロッパなど諸外国においてはITプロフェッショナル技術者の認知度は高くビジネスを成功させる人材として必要とされている。
- 日本では、IT産業がサービスを重視するように変革され始めた頃より仕事の内容が、「残業が多い」、「納期が厳しい」、「30歳定年説」などのプログラム開発(SE)のイメージが強く、IT技術者の認識が低くなりつつある。
- 学生にも3K労働のイメージがあり、就職では「IT企業はどこにでも入れる」というイメージをもっており、滑り止めの選択をする学生が増えていると言われている。
- 今回は、学生の皆さんからIT産業の「人気と関心」について聞き、IT産業界のトップと政策実施機関(IPA)のトップに、学生の考えに対して今後どうすべきかなどをお答えいただく。
- 業界のトップがITプロフェッショナル技術者が如何に高度で重要な存在であるかを明示することにより、学生のIT業界への認識と就職人気の向上につなげていきたい。

## 【討論のポイント】

1. 学生への問いかけとして3項目
  - ・IT産業へのイメージ
  - ・IT企業のイメージと印象
  - ・IT技術者という仕事へのイメージ
  
2. 産業界への問いかけとして2項目
  - ・企業側が欲しい人材
  - ・学生時代に学んでおいて欲しいこと
  
3. 学生諸兄からの何でもQ & A

## 【討論のポイント 1】

学生さんへ問いかけます。

「IT産業へのイメージについて」

## 【討論のポイント 2】

学生さんへ問いかけます。

「IT企業のイメージと印象について」

## 【討論のポイント 3】

学生さんへ問いかけます。

「IT技術者という仕事への  
イメージと印象について」

## 【討論のポイント 4】

産業界トップへ問いかけます。

「企業側が欲しい人材について」

## 【討論のポイント 5】

産業界トップへ問いかけます。

「学生時代に学んでおいて欲しいこと」

## 【討論のポイント 6】

「学生さんからの何でもQ&A」

## IPAフォーラム2007

「学生から見たIT産業」と「IT産業から見た学生」

～IT産業は学生からの人気を回復できるか～

討論会 終了